



# 動物レスキュー通信

2014年3月 第10号 (平成26年3月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## パートナーと共に 楽しい旅行にするために



3月に入りました。今年の冬は寒さが厳しく大雪もあり、皆さんの生活にも少なからず支障をきたした事があつたかと思ひます。そのためお家の中で過ごす事も必然的に多くなつてしまつた事でしょう。そのため、暖かくなつてくるとお出かけしたくなる方も多ひはずです。今では「大切なワンちゃん、ネコちゃんと一緒に旅行に行きたい」と考えるのも普通の事になつています。既に「ワンちゃん、ネコちゃん」と一緒に旅行を経験済みの飼い主さんもいらつしやるかと思ひます。普段とは違つ場所に気を付けて頂きたい事もありますが、お付き合い頂ければと思ひます。

### 気を付けるべきこと

ワンちゃん、ネコちゃんとの旅行の手段として、電車、バス、飛行機などの公共交通機関がありますが、一番融通がきき、トライしやすいのはマイカーだと思ひます。そこでマイカーでの移動の際に特に気を付けたい事も含めてご紹介していきます。①これは公共交通機関を利用した際にも言える事ですが、ワンちゃん、ネコちゃんの乗り物酔いには注意が必要です。人間と同じく乗り物に酔いや酔いやすい子と、酔いにくい子がいます。又、車に乗る事に対して慣れていなかったり、怖いという気持ちがあると酔いや酔いやすくなつてしまいます。ですから日頃から、少しずつの練習が重要です。

旅行の計画を立て、いきなり連れ出すのは絶対に避けて下さい。長距離移動は、毎日少しずつ距離を伸ばし車に慣れさせてあげた後にして下さい。そして出かける直前には食事はさせないようにする方が無難です。それでもどうしても乗り物酔いしてしまう子には、事前に動物病院で酔い止め薬を処方してもらひましょう。又、運転にも注意が必要で、急発進や急ブレーキ、長時間の連続運転は避け、1〜2時間おきに休憩し、ワンちゃん、ネコちゃんを車の外に出してあげ、リフレッシュさせてあげましょう。その際には迷子にならないように必ず首輪(名前、連絡先など、身元が分かる事)、リードをしてあげて下さい。②熱中症に気を付ける事が大切です。これは熱くなる子供に起きる不幸で「ユースを見る事が多いと思ひますが、もちろんワンちゃん、ネコちゃんにもあり得る事です。そしてこの熱中症は夏だけに起こる事ではありません。数年前から、春や秋でも気温がとて高い日が増えてきています。ある意味、春と秋が非常に短くなつたとも言えます。3月中旬には晴天の昼間の車内温度が30分の間に20度近くも上昇する事があります。ワンちゃん、ネコちゃんは人間と違い、汗腺からの発汗による体温調節がほぼできないので、暑さには弱いのです。エンジン止めてワンちゃん、ネコちゃんを社内(置き去り)にする事はもちろんダメですが、それだけではなく、ケージに入り後部座席にいるワンちゃん、ネコちゃんは、運転席ほどの冷気が回りにくいため、冷房中の車内に一緒に人が載つてい

ても、絶対に熱中症にならないとは言えませんので、注意して見てあげる必要があります。③感染症などに注意が必要です。普段のテリトリーやお散歩ルートなどは違つ新しい世界。人間でも新しい場所や物には興味があつたのと同じで、ワンちゃん、ネコちゃんも新しい場所や物には興味津々で臭いをかいたり舐めてみたりと行動を起こします。そこには目には見えない細菌やウイルスなどが潜んでるかもしれませぬ。必ずワクチンは接種して下さい。又、感染だけではなく、海や川などに遊びに行く時、岩場や草がついてる目立たない足元が滑りやすくなつたり、バーベキューの残骸、釣り針を飲み込んでしまつような誤食事故も多々あります。そんな急な事故や病気に備えて、旅行先の近くの動物病院の情報は調べてから出かけて下さい。万が一の時に慌てずすみませぬ。④帰宅後のケアも忘れずに。帰宅後はワンちゃん、ネコちゃんの体を念入りにチェックしましょう。飼い主さんが気付かないうちに怪我をしていたり、ダニにかまれたりしているかもしれないませぬ。それだけではなく、元気がよく、食欲が異常にないか、下痢や嘔吐はないかなど、よく観察してあげて下さい。何か少しでもおかしいと思つた時には、すぐに獣医さんに診てもらつて下さい。その際には、旅行で行つた場所や行動などをきちんと整理して説明すると、病気が発見しやすくなります。重大な感染症に感染してしまつている可能性もありますので、早期治療がとても大切になってきます。ワンちゃん、ネコちゃんと一緒に旅行はとても楽しいですが、準備も注意も必要で大変です。それなりの覚悟を持つての行動が大切になってきます。

詩月財団では、今後もワンちゃん、ネコちゃんに関する情報を発信し、良好な関係を築くお手伝いをし、不幸な命を減らせるよう努力してまいります。